



このえ町

第70号

議会だより

発行/九重町議会

〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1
☎ 0973-76-3814

編集/議会広報編集委員会
印刷/尾花印刷有限会社



玖珠郡中体連野球大会で圧倒的な強さで優勝した、南山田中学校野球部の皆さん

6月定例会

- **第2回定例会** 補正予算の主なものや質疑Q&A P.2
- **陳情・請願** P.3
- **一般質問 3名** P.4~6
- **私のひとこと**
 - 飯田 高石 敏江さん P.7
 - 野上 森 昌哉さん
- **こんな町にしてほしい** 東飯田小学校6年 湯浅恵美子さん P.8

平成17年

第2回定例会

6月
定例議会

平成17年第2回定例議会は、6月16日から28日まで13日間開催され、議案11件、継続審査1件、陳情1件、請願2件を慎重に審議いたしました。

補正予算は一般会計3億6千9百30万5千円を追加し、総額で69億4千7百30万5千円となりました。

補正予算の主なもの

◎ 鳴子川大吊り橋の本体工事費や
周辺整備費

3億4千5百38万7千円

◎ トマト選果手数料軽減助成金他

7百80万5千円

背景は鳴子川大吊り橋北方エリアの工事現場

補正予算質疑

Q & A

Q 鳴子川渓谷及び周辺整備事業費が3億4千5百38万7千円計上されているが、当初予算の同事業費と合わせると、約7億4千万円になる。その財源の内訳と周辺整備の主な内容は。

A 財源内訳は、過疎債が1億9千9百50万円、地域再生事業債が4億6千50万円、特交付金4千5百万円、基金繰入金が3千万円などです。周辺整備は、トイレ・浄化槽、農産物等の販売所、券売所、管理棟などです。

Q 総事業費19億5千7百万円（人件費など事務費を含む）の内、総額で1億円ぐらい、周辺整備で抑えることはできないか。

A 物産館など、最初はテントでも建ててやるかと検討したが、周辺整備に2億円ほどが過疎債の対象になったので整備することにした。

Q 文化財保護費の空中写真撮影委託料約170万円は、セスナ機などで撮るのか。農産物がラジコンヘリを所有しているが、利用できないか。

A 町田立村遺跡で発掘された物や現地をリモコンヘリで撮影予定で特殊性もあり、以前から利用している大分市のリモコンヘリを考えている。



議会の動き

《4月》

- 15日 正副議長・委員長会
- 19日 町内巡視（総務財政常任委員会）
- 21日 町内巡視（教育民生常任委員会）
- 25日 区長会
- 26日 玖珠環境衛生センター落成式
- 27日 町内巡視（建設産業常任委員会）

《5月》

- 10日 全員協議会
- ” 玖珠郡育英会総会
- 19日 九重町観光協会総会
- 20日 町村議会議長会理事会
- 21日 町づくり大使シンポジウム
- 23～24日 議長会全国研修会（東京都）
- 23～26日 建設産業常任委員会視察（奈良・三重・愛知）
- 30日 大分県内水面漁業振興フォーラム（玖珠町）
- 30～2日 総務財政常任委員会視察（北海道）

《6月》

- 1～4日 教育民生常任委員会視察（岐阜・長野）
- 7日 議員研修（大分市）
- 10日 議会運営委員会

人権擁護委員

佐藤信義氏の

推薦に同意

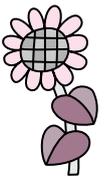


現人権擁護委員の佐藤信義氏の任期が平成17年9月30日で満了となるために同氏を満場一致で推薦に同意。



みなさん方の陳情や

請願はこうなりました。



陳情

●自治労大分県本部九重町職員労働組合執行委員長、武石啓治氏からの米国产牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書の提出については。

米国产の牛肉及び牛乳加工品の輸入禁止を現在行っているが、国においては20ヶ月齢以下の牛を全頭検査から除外するなど、米国产牛肉等の輸入再開に向けた動きを進めている。しかし国民の間ではBSEに対する不安の解消は未だされておらず、米国产牛肉の輸入再開は慎重を期すべきと判断し、今回の意見書は適当と思われまます。よって陳情の趣旨は理解できることから採択とすること意見の一致をみました。

継続審査となっていた、NTTドコモ基地局建設

●移転要望東飯田の会代表、諫山久氏外10名からの携帯電話基地局建設の規制についての陳情については。

総務省の携帯電話の電磁波の人体への影響についての中間報告では、健康に悪影響を及ぼすという証拠は認められないという報告がされています。一方民間における調査研究においては、人体への何らかの影響を認める報告が行われているが、電磁波の有害性が明確に確認されていない現状の中で、法律を遵守した民間の経済活動に地方公共団体が独自の条例で基地局の建設を規制したり、有害性の懸念を示したりすることは困難であると判断し、本要望については

不採択とすることで意見の一致をみました。

しかし、幼児・児童・生徒に関わる公共施設の近くでの建設については、電磁波が健康に対する悪影響が認められないとはいえず、無害が解明できたわけではないので、今後の携帯電話基地局の設置の申し出があつた場合は、業者が住民不安が生じないよう行政指導を行うなどの措置をとられるよう要望します。

請願

●玖珠郡漁業協同組合代表理事組合長、日野立明氏外5名からの玖珠川の河川流量増加を求める請願については。

玖珠川の河川流量は、昭和40年に九州電力玖珠発電所の取水開始により減少し、それが故に本来の河川としての姿が失われ、その景観や自然環境の破壊が進み、よごんだ玖珠川となつている。その為、玖珠川に生息する

工ノ八等の淡水魚が生育しにくい現状であり、玖珠川の漁場としていたる玖珠川の河川漁業者の今回の河川流量増加要請は適当と思われる。よって、陳情の趣旨は十分理解できるところから採択とすること意見の一致をみました。

●大分県教職員組合玖珠支部執行委員長、佐藤明彦氏からの義務教育費国庫負担制度の堅持及び30人以下学級の実現・複式学級解消を求める請願については。

三位一体改革の中で、義務教育費国庫負担制度が見直し対象で一般財源化されようとしているが、実現すると地方自治体負担は増大することは必至で、教育の機会均等は根底から崩れ、教育費の確保は困難となる。又、30人以下学級の実現・複式学級解消も教育環境充実で理解できることから採択とすること意見の一致をみました。

「意見書提出」

- 米国产牛肉の拙速な輸入再開に反対しBSEの万全な対策を求める意見書。
- 玖珠川の河川流量増加を求める意見書。
- 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書。
- 義務教育費国庫負担制度の堅持及び30人以下学級の実現・複式学級解消を求める意見書。

12日	九重町飯田農業協同組合総会
15日	玖珠郡正副議長協議会
16日	本会議（開会）
17日	本会議（一般質問）
17日	議員研修
17日	鳴子川周辺調査特別委員会
20日	建設産業常任委員会
20日	総務財政常任委員会
21日	教育民生常任委員会
24日	玖珠郡防犯協会連合会総会（玖珠町）
26日	J A玖珠九重第4回通常総会
27日	泉水キャンプ村開村式
28日	本会議（閉会）
28日	全員協議会
29日	広域議会臨時総会
29日	日田玖珠議長会総会

私の一般質問

6月17日に3名が質問しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

責任を持って健全化へ進め

町長／事務事業見直し中



江藤 一幸

問 経常収支比率が、2003年では、78・1%、2007年の試算では、95・2%にアップ要素が変わればもつと悪くなる。町長の任期は3年数カ月ある。この間に強いリーダーシップで経常収支比率90%に近づけよ！具体的な経費削減計画は出ているのか！

答 昭和62年の行財政改革で、経常収支比率87%、公債比率13%を目標設定しました。経常収支比率を5%以上上げるには、1億7千万円から2億円



吊り橋工事が進む北方エリア

大吊り橋のシミュレーションは

問 鳴子川開発の資金調達のめどは、過疎債に代わる地域再生事業債の負担率はどのくらいか！中村エリアの整備計画及びその全体の運営計画はどうなっている。吊り橋に来た人の一人当たりの消費額、シミュレーション目標設定の数字はあるのか、町の観光消費額全体はどのくらい押し上げ、アップさせることができるか。

消費額の目標設定ない

答 地域再生事業債ですが、16年度からできた起債制度で、17年度の夏過ぎでないと交付税措置がどのくらい分かりません。大吊り橋全体の整備計画は、取り組みが遅れています。現在、役場内のプロジェクトチームで最終案を作っています。消費額等の目標設定シミュレーションは、今のところ出ておりません。

防災無線・

朝の放送

問 朝の防災無線の放送は、宿泊客からの苦情が多く出ている。旅館や民宿に近い屋外スピーカーからの放送は流さないように出来ないか。地元の旅館等以外の方向と協議をして、その方向での対応をお願いしたい。

現在、筋湯は対応

答 ご指摘のように、1日5回放送しています。行政放送としては数が多い気がしています。放送時間、回数等について改めて中身を考えていきたい。筋湯は、お客さんからの苦情で対応していません。プログラムを変更すれば出来ます。周辺の区の方々や観光協会とも話し合いをして検討します。



防災無線室 放送中

行政改革実施計画は 内容を具体的に

町長／今後、具体的に示していく



井上 里子

問 町の第4次行政改革実施計画には、41の実施項目が設けられているが、項目によっては、内容を具体的に示す必要がある。

例えば、**中学校統合**については、「将来において中学校統合を視野に入れて検討する」という内容が示されていて行政改革最終年の21年度まで、その検討を続けることになっている。しかし、町の方針は、あくまでも予定ではあるが、21年度に統合中学校の建設が予定されている。過疎計画にもそれが上がっている。そうした町の方針が見える形で、内容を具体的に示すことが必要だと思う。

なお、中学校統合は、行政改革というより教育的な視点で検討を要望する。次に、**経費の節減と合理化**という実施項目では、「経常収支比率87%、公債費比率13%の数値目標に向けて健全財政の運営に努める」とあるが、経常収支比率87%を超えないようにするには、経費のどの部分をどれだ

けずつ削減するか、目標額を示すのが実施計画だと思う。

次に、**審議会・委員会等の見直し**の項目では、「委員への女性の登用を図る」としてあるが、年度ごとの数値目標を計画に入れて、年度初めに、前年度の女性委員の登用率を公表することが必要ではないか。

答 中学校統合については、住民とのコンセンサス（合意）が必要なので、ある程度めどがたった時点で、具体的なことを計画に入れていきます。

答 中学校統合については、住民とのコンセンサス（合意）が必要なので、ある程度めどがたった時点で、具体的なことを計画に入れていきます。

答 審議会等の委員への女性の登用については、公募とかいろんな方策があるが、今からの計画を組織の中で話し合っていきます。

答 審議会等の委員への女性の登用については、公募とかいろんな方策があるが、今からの計画を組織の中で話し合っていきます。

答 審議会等の委員への女性の登用については、公募とかいろんな方策があるが、今からの計画を組織の中で話し合っていきます。

答 審議会等の委員への女性の登用については、公募とかいろんな方策があるが、今からの計画を組織の中で話し合っていきます。

答 審議会等の委員への女性の登用については、公募とかいろんな方策があるが、今からの計画を組織の中で話し合っていきます。



第4次行政改革がスタートした庁舎内

職員の意識改革に 今、取り組んでいることは

問 町では、自律のまちづくりには、職員の意識改革が必要であるとして、昨年秋頃から各課長を中心に職員全員で話し合っ

答 先月（5月）、職員提案制度の要綱を制定し、現在、特別提案として、「自律のまちづくりに向けた具体案」、「人口1万人を堅持する方策」を課題ごとに検討して、6月30日までに提案することにしています。



予算説明書の作成は

問 昨年9月定例会での一般質問で、私は福岡県二丈町の予算概要説明書を紹介しながら、本町でも、住民参画・協働のまちづくりを進めていくために、こういう予算説明書を年度初めに作成し、全世帯に配布できないか聞いた。答弁は「情報の公開、行政の説明責任、住民参画という視点から導入に向けて前向きに検討していきたい」ということだったので、本年度

作成を期待していたが、どうなっているのか。

答 冊子にした予算説明書を住民に配布しても、投資効果があるか（読んでもらえるか）という議論も正直出ている。国保だよりを相当のお金をかけて作成し、全戸配布しているがほとんどの家庭で読んでもらえていない。予算説明書を作成できるかどうか、もう少し時間をいただきたい。

また、コスト意識、ブ

町営住宅について

町長／ストック計画通りに推進する



大石 光 則



居住者に好評の豊後中村住宅

問 九重町営住宅ストック計画によると、平成23年には、目標戸数を約180戸から190戸設定とあるが、飯田地区より陳情の出ている飯田地区における若者向けの住宅建設はどうなっているか？

答 飯田地区区長会の陳情は、住宅総合活用計画にそって、平成21年に飯田地区に6戸、22年に野上地区に10戸の建て替えを予定しています。

農道の整備

問 農業をやるための大動脈である農道舗装は、町管理分が約1万5千メートルある。舗装の進捗率はどのくらいか？
千町無田地区では、2百10町の水田面積の中に町管理分の約3分の1に当たる、6千メートルの農道があるが、あまり手



農道の整備が望まれる千町無田

が入られていないが、舗装計画はあるか？

18年度から計画する

答 町管理の21路線で、1万4千メートルで、進捗率68・6%という中、千町無田については、過疎計画に18年度から上げる予定です。

緊急性のある箇所から

答 緊急性があれば、必要箇所には離合所の設置、あるいは視距改良等の改修を行います。又、笹ノ口、北方間については、今の段階では全面改良は考えておりません。事業実施につきましては、用地の確保をよろしくお願いたします。

町道笹ノ口、須久保線（北方より年の神間）改修について

問 鳴子川大吊り橋の工事も完成が少し遅れるも順調に進んでいる。来年10月初め完成予定。完成すれば多くのお客が来るが、北方より年の神間のアクセス道路の整備が急がれる。

東部地区区長よりの陳情は、政策道路として議会採択は受けているが、計画はどうなっているのか？ 又、笹ノ口、北方間はどうするのか？
町民の生活道路としての安全対策や苦情はどうするのか？

飯田に

生まれて

飯田(豊田下)

高石 敏江さん



私の住む九重町飯田高原は、年間5百万人の観光客が訪れる、観光と農業の町です。

私は家族6人で水稲2ha、兼業農家です。

日本全国合併の波が押し寄せ、九重町は自律で町づくりの道を進むことに決定しました。

今、私は湯布院町の方で仕事をしています。湯布院も観光客が多く、それが鳴子川大吊り橋の完成で九重町に人が流れ、町内の活力となり、若い人たちの定住につながれると思います。息子も高校生となり、



カスミ草の手入れをする高石さん

将来の夢へと希望を持って毎日頑張っています。

家を継いでもらいたい気持ちはありませんが、これからの農業の厳しさから、それを勧めるのも難しいかなと思います。この緑豊かな町づくり

に住民、行政、議会が歩調を合わせて、30年、40年後、私たちがひとり暮らしの老人になっても、安心して楽しく過ごせるような町であってほしいと思います。

頑張れ、九重町！

異業種交流に

よる町づくり

野上(中央)

森 昌哉さん



我が町は合併をせず自律の道を選択しました。タウンミーティングや議会において、今後の町づくりについての町の計画が求められています。行政の面では可能と思われませんが、その他、住民自身が行う町づくりについては、一部の者だけではなくみなで議論し、計画、実行していくべきと思います。町は、各分野において、その為の機会を町民みんなに与えるべきです。

私自身、自律の町づくりについて、商業者として異業種交流による、産業・生活面での『九重ブ

ランド』を創造するという道を拓く事に希望を抱いています。

各業種の者が集まりお互いの知恵を出し合います。町内はもちろん町外に向けての製品の流通、販売、開発を行い、その為に教育・文化・福祉等生活面での改革が自ら求められます。そしてそこにはIT(情報通信技術)の存在が必要条件です。店舗はなくても全国の人に商品を販売できます。

この様に、九重町の産業・生活等『九重ブランド』を内外に発信していきたいです。

わたしのひとこと



野上を語る会で議論する皆さん

こんな町にしてほしい

自然豊かな九重町

東飯田小学校6年

湯浅恵美子さん



九重町には、沢山の美しい自然があります。飯田地区や龍門の滝、他にも皆さんの知らない所に綺麗な自然があると思います。

つい最近まで、珍珠町との合併や吊り橋の事がよく話題になっていました。合併については、九重町は九重町



ゴミが散乱する町道

る人、捨てているゴミを見ます。今でもゴミはあるのに、これ以上ゴミが増えてしまったらと思います。また、旅行者が多いと車も多くなりすぎます。そうなるのと排気ガスの事も心配です。

のはうれしいです。観光が増える事もうれしいです。問題は、その後です。旅行にすると、そこにゴミを捨て

議員リレー

随想

40

一人ひとりが輝く町に



穴井 太輔

今年2月に、九重町が生誕して50年を迎えました。昨年まで続いていた、2町合併問題も九重町単独との方針を決定し新たな『九重丸』が船出をしました。

50年を省みると、多くの先人達が一大決心のもとで九重町の発展に努められ、今日の九重町があると思われま

す。2月1日に九重丸も自律に向け『主役は住民』をモットーに『九重町まちづくり基本条例』を制定し、住民の権利と責務及び議会、行政の役割を明らかにし、住民自らが町づくりに

これは、九重町の『まちづくり憲法』に値するものです。又、新たな町づくりを進める為、過疎地域自立促進計画を策定しました。目的は、産業の振興、交通・通信の整備、生活環境の整備、高齢者等の保健及び福祉の向上、医療の確保、教育の振興等が記されています。



梅雨というのに雨が少なく、水不足による被害が各地で発生し深刻な状況が続いている。我が町は大丈夫かと気にもなる。

話は変わるが、吊り橋の財政対応がマスコミ等で報道されていたが厳しい財政運営には変りない、自律の町づくりの対応等真価が問われている。

新しい自治の仕組み、分権時代を切り拓く役割をひしひしと感じるこの頃である。

K・O



千町無田水田公園の睡蓮